



# Press Release

# 資料 4



報道関係者各位

平成30年9月26日  
青森県立保健大学

## 平成30年度 国際科講演会

### 和食はどこからきたのか？ ～伝来して定着した農産物と調理～

#### I. 国際科講演会の趣旨

国際科委員会では、国際的な視点から、医療福祉分野の専門とする本学の特性を活かした講演会を、毎年開催してきた。講演会は、地域住民を対象とし、国際交流のみならず、多文化共生を考える契機を提供し、他の国やそこで暮らす人々への理解に繋げることを目的としている。

最近の実績として、毎年本学と交流を行っている韓国のインジェ大学教員による「韓国の理学療法教育」に関する講演や、長年、青森で生活している外国人の方々からみた、日本や青森について講演いただくなど、グローバルな視点を養う講演も行われてきた。

#### II. 開催概要

今年度の国際科講演会では、食文化論がご専門で料理研究者でもある方をお招きして、ユネスコの無形文化遺産として登録されている「和食」について、その食材や調理法が海外から影響を受けていることをお話しいただき、日本と海外とのつながりを学ぶ機会としたい。

#### 講演者の略歴

小川聖子 氏 神奈川県出身。聖徳大学准教授／女子栄養大学・人間総合科学大学非常勤講師／料理研究者／食文化研究者／博士（学術）

専門は、食文化論。現在日本に残っている伝統食材と、その調理法、地域文化について、研究を続けている。また、科学的理論に基づいた料理を、一般家庭に広めるべく、調理関係の仕事に携わってきた。著作『女子栄養大学の50からのいたわりレシピ』『食と健康の科学』（共著）など多数。

#### III. 注目点

国際科では、多文化共生をテーマに掲げ、これまで様々な講演会を開催してきた。

本年度は、「和食」を通じた海外とのつながりを学ぶという、食の視点からのアプローチで日本や青森を改めて知り、考える機会になることを期待している。

期間：平成 30年 10 月 27日（土） 13：30～15：00

定員： 200 名

場所：青森県立保健大学 A 棟 111 教室

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-4085 FAX:017-765-2021

担当：地域連携推進課 岡嶋

\*\*\*\*\*